

コンプライアンス強化のための リスクマップ作り

リスクマップの有効活用で 全社的リスク管理のPDCAを回す

「コンプライアンス強化」と言ったときに思い浮かべるのは、組織体制の整備、社内規程の見直し、社内研修等の教育でしょうか？しかし、漫然とこれらを行っても、部分的・表面的な対症療法にしかならない恐れがあります。また、リーガルリスクだけに目を向けていたのでは、十分に不祥事や事故を防ぐことはできません。コンプライアンス強化のための施策を考える前提として、社内各現場に潜むリスクを全社横断的に洗い出し、その大小を見える化した「リスクマップ」を作ることが第一です。ここでは、危機管理の専門家の実践的アドバイスを受け、参加者同士の議論を重ねながら、実際に自社のリスクマップを作成していただくことをゴールとして、3回のワークショップを進めていきます。

全3回



1 9/26 Tue
回目 14:00-16:00

自社の現状を把握し、リスク管理の完成形をイメージする

2 10/4 Wed
回目 14:00-16:00

機能するリスクマップの作り方を知る

3 10/10 Tue
回目 14:00-16:00

リスクマップを有効活用して全社的リスク管理のPDCAを回していく

- 対象** コンプライアンス・リスク管理業務を担当する役員、責任者、担当者などで、下記のような実務上の悩みを抱えている方
- この業務を担当しているが、完成形が分からずゴールが見えない
 - この業務の手応えを感じることができない
 - 経営からの期待に応えられているという実感が持てない
 - 数年前にリスクマップを作ったことがあるがそのまま放置している

会場 グランドハイアット東京4階 タイム会議室
〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3
東京メトロ 日比谷線「六本木駅」1C番出口より 徒歩3分
都営地下鉄 大江戸線「六本木駅」3番出口より 徒歩6分

参加費用 100,000円 (1回37,250円) (税抜) **定員** 10名

主催 レクシスネクシス・ジャパン株式会社

問い合わせ先 レクシスネクシス・ジャパン株式会社 広告・出版部セミナー担当
seminar@lexisnexis.co.jp

講師

竹内 朗 弁護士・公認不正検査士 プロアクト法律事務所
早稲田大学法学部卒業。1996年弁護士登録。2001年～2006年日興コーディアル証券株式会社(現SMBC日興証券株式会社) 法務部勤務。2006年～2010年国広総合法律事務所パートナー。2010年プロアクト法律事務所開設。著書に『コーポレート・ガバナンスの法律相談』(共著)(青林書院、2016)、『企業不祥事インデックス』(共著)(商事法務、2015)、『リスクマネジメント実務の法律相談』(共著)(青林書院、2014)ほか。

早川 明伸 弁護士 早川経営法律事務所
大阪大学法学部卒業。2005年弁護士登録、中島経営法律事務所入所。2015年早川経営法律事務所開設。2016年独立行政法人中小企業基盤整備機構BusiNestアクセラレータコースメンター就任。2017年九州大学起業部メンター就任。リスクマネジメントや上場企業・ベンチャー企業の内部管理体制構築、各種研修業務を主に扱う。

※プログラム詳細は裏面をご覧ください ※内容は一部変更になる場合があります

LexisNexis コンプライアンスマネージャーシリーズ
Compliance Manager series

とは？

Lexis ASONE Compliance Manager (ACM) は、監視すべき法令を特定し、コンプライアンスの遵守状況を見える化するソリューションです。
本セミナーシリーズでは、ACMがカバーするコンプライアンス上の重要な課題を取り上げます。



LexisNexis® | Lexis ASONE Compliance Manager

お申し込みは
webサイトから
詳しくは

<http://www.lexis-seminar.jp/>

レクシス セミナー

検索

1
回
目

自社の現状を把握し、 リスク管理の完成形を イメージする

各社のリスク管理の体制や現在の課題を参加者自身にお話しいただき参加者同士で悩みを共有したうえで、講師からカウンセリングを実施いたします。その後、講師から、コンプライアンス強化のために、なぜ「リスクマップ」が必要なのかという点と、リスク管理の完成形のイメージをレクチャーいたします。

カウンセリング

- 各社の現状のリスクマネジメント体制の共有
- 各社のリスクマネジメントにおける悩みの共有

レクチャー

- なぜリスクマップが必要か？
- コンプライアンス担当者の果たすべき役割
- 「3線ディフェンス」という考え方
 - ・ 現場部門(1線)、リスク管理部門(2線)、内部監査部門(3線)それぞれの役割分担
 - ・ 1.5線という手法
- 全社的にリスクが管理できている状態とは？完成形のイメージを持つ
- リスクの抽出の方法

次回への課題

- リスクマップ第1稿の作成(リスクの抽出)

2
回
目

機能するリスクマップの 作り方を知る

リスクマップの作成に向けて、重要なのはリスクの抽出と評価です。各社課題としてリスクマップ第1稿を作成していただいたことを踏まえ、それぞれの自社のリスク項目の整理、マップ作りのノウハウを学んでいただきます。

レクチャー／ディスカッション

- リスクの評価の方法
- 固有リスク評価→統制活動→残存リスク評価→残存リスク受容というプロセスの理解
- 自社の統制活動の成果、施策の浸透度をどのように評価するか？
- 1線部門(現場部門)の巻き込み、3線部門(内部監査部門)との役割分担

次回への課題

- リスクマップ第2稿の作成(リスクの評価)

3
回
目

リスクマップを有効活用して 全社リスク管理の PDCAを回していく

最終回では、各自作成していただいたリスクマップ第2稿を足がかりに、今後のコンプライアンス強化に向けたリスク管理のアクションプランをディスカッションしていただきます。

- リスクマップを今後のリスク管理にどのように有効活用していくか？
- アクションプランの検討
- 1線部門(現場部門)の巻き込み、3線部門(内部監査部門)との役割分担
- 「コンプライアンス委員会」など既存の組織体の有効活用
- リアクティブでないプロアクティブなリスク管理とは？
- コンプライアンス・リスク管理業務の経営層への報告のあり方、役員の善管注意義務との関係を説明

※3回目終了後、懇親会の開催を予定しております。

受講後のおさらい

- ・ コンプライアンス強化に向けたPDCAサイクルを回すための道が明確になります。
- ・ 打つべき施策について、経営層に論理的に説明できるようになります。
- ・ 1か月後、各社での結果を共有し、次のアクションにつなげるオプション企画もあります。

